

システム情報工学研究科 社会工学専攻社会工学学位プログラム（博士前期課程）

MPPS・コア（選択必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN101	社会工学のための数学	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	3E404	石川 竜一郎, ターンプル スティーヴン	講義の前半と後半の内容は互いに独立している。 前半: 微積分及び静学システム下での非線形最適化問題の手法を解説する。 後半: 数理計画による評価・意思決定手法DEA (Data Envelopment Analysis; 包絡分析) を学ぶ。社会システムDEA分析にも言及する。	01CB113, 01CD122, 01CD251と同一。
01CN102	資産価格理論	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	3E404	石川 竜一郎, 大久保 正勝	金融市場や金融機関の基本的役割、およびそれに参加する主体の意思決定に付随する分析の枠組みを学ぶ。	01CB101, 01CD211と同一。
01CN103	社会シミュレーション	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	3E404	秋山 英三, 佐野 幸恵	社会シミュレーションは、経済、経営、都市交通など、社会科学の多くの分野で活用されている。本講義では、社会シミュレーションの基礎的な手法とその応用について、事例・実例を交えながら概説する。	01CB011, 01CD203と同一。
01CN104	ゲーム理論	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3E404	渡邊 直樹, 山本 芳嗣	前半は渡邊が非協力ゲームの基礎を、後半は山本が社会的選択の基礎を講義する。	01CB111と同一。
01CN105	統計分析	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	3E404	金澤 雄一郎, 五十嵐 岳	この科目では統計学の基本的知識を前提とし、データをいかに探索的に解析するかを学ぶ。具体的には一次元・二次元から多次元にわたるさまざまなグラフィカルなデータ表示・解析手法を実際に使用し、最終的にこれらを回帰分析に結び付ける手法を実習を通じて修得する。	データを探索的に解析する基本的な考え方や手法の修得。 01CB202, 01CD103, 01CH741と同一。 英語で授業。 期末プレゼンテーションとそのときに提出する期末レポート、授業への出席。
01CN106	企業評価論	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	3E404	岡田 幸彦, 原田 信行	本授業は、企業評価の方法論を学ぶ。前半は、財務分析・企業分析の基礎および企業評価の世界の潮流を学ぶ。後半は、企業評価において特に重要な理論と技術を学ぶ。	01CB258, 01CD104と同一。
01CN107	制度・政策決定論	1	2.0	1・2	春AB	火3,4	3E404	有田 智一, 高橋 義明	政府による政策決定プロセス及び制度の役割について理解する。前半5週では、政策過程について概観したあと、日本の行政組織の機構と特徴について論じる。その後、具体的な経済政策等の決定プロセスの変遷や現状について論じる。後半5週では、都市・地域政策を事例として、各種審議会資料、政策報告書等を題材として、政府での政策内容と制度化・政策決定プロセスについて論じる。	01CD201と同一。
01CN108	都市と環境	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	3E404	谷口 守, 村上 暁信, 雨宮 護	はじめに、都市計画、環境計画分野が直面する現実的課題と、専門家としてそれにどう向き合うかについて、以下のトピックを取り上げる予定。 ・プランニング その課題 ・都市計画、環境計画分野の研究展望 ・都市計画、環境計画分野の政策展望 ・研究の作法、教え示す技術 次に、都市化がどのような環境問題をもちたらし、また環境問題が都市のあり方にどのように影響を与えてきたかについて理解を深める。 ・都市と地域環境問題(衛生問題, 公害問題) ・地球環境問題(地球温暖化, 生物多様性保全) ・環境負荷の低減とアメニティ向上の両立について 最後に、「都市と環境」を巡る最近のトピックをオムニバス形式で取り上げ、各テーマの解説と最近の研究動向、取り組み事例などについて解説する。 ・緑地環境と都市 ・安全・安心と都市 ・G空間社会と都市	01CB013, 01CD204と同一。
01CN109	空間情報科学	2	2.0	1・2	春AB	木3,4		渡辺 俊	情報技術を利用した空間のモデル化・分析手法について、その理論から応用までを概観するとともに、具体的なコンピュータ・アプリケーション(ArcGIS)の操作を通じて理解を深める。	01AD426, 01CB321, 01CD244と同一。
01CN110	社会工学ワークショップI	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる基礎的能力を身につける。	01CB435と同一。
01CN111	社会工学ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる発展的能力を身につける。	01CB436と同一。

MPPS・資産・資源・空間・環境（選択必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN201	サプライチェーンマネジメント	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	3E404	倉田 久	サプライチェーン・マネジメントを戦略、生産、物流、マーケティング、MISなどの経営活動の諸側面から講義する。	01CB241, 01CD110, 01CJ405と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN202	信用リスク論		1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	高橋 正文	企業評価、企業発行証券評価に必要な不可欠な信用リスクについて網羅的に講義する。この講義の理解には連続または離散的確率過程とデリバティブの知識が重要となる。最初の数講義はかなりハードな数学的知識を詰め込む。その後企業発行証券の代表である債券評価、特に構造モデルと還元モデルのいくつかを紹介し、最終的に信用リスクの数学的取り扱いと企業格付けについての理解を深める。	01CB232, 01CD142と同一。
01CN203	都市リスク管理特論		1	2.0	1・2	春AB	金1,2	総合B112-1 糸井川 栄一, 谷口 綾子	都市域の地震時における防災性能を計測する代表的事例として東京都の地域危険度測定調査を中心に取り上げ、その評価の仕組みや、地域危険度の公表等を通じた防災都市づくり・まちづくりなどの実態について詳説するとともに、受講者による地域危険度に関するデータ分析と発表を通じて、都市域の地域危険度を低減する方策について議論する。	01CB302, 01CD213, 01CF301と同一。
01CN204	都市・地域解析学		1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	3E404 大澤 義明, 鈴木 勉	都市・地域解析の基礎知識を習得し、都市や地域の構成要素の配置や密度をモデル化する技法を身に付ける。身近な応用例を見つけて、取り上げた問題のメカニズムを解明したり、解決策を導いたりすることを行う。作業は2・3名でグループをつくって進める。	01AD440, 01CB322, 01CD249, 01CF305と同一。

MPPS・空間・環境/組織・行動(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN211	都市開発プロジェクト・マネジメント/地域経営論		1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	3E404 有田 智一	三菱地所株式会社より招聘した客員教員を中心に、実務経験の豊富な学外の講師より、都市開発プロジェクト・マネジメントに関する最新の実例とその理論について解説する。	01CD232と同一。
01CN212	公共政策論		1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3E404 奥島 真一郎, 牛島 光一	本科目では、経済学的な観点から、公共的課題解決のための政策手段やその評価手法について考察する。前半は、主に環境問題に関する講義と演習、後半は、医療と教育に関する講義と演習が中心となる。公共政策に関する理論、分析手法、具体的知識をバランスよく、かつ、専門的なレベルまで学ぶことが本科目の目標となる。	01CB125, 01CD254と同一。
01CN213	国際経済分析		1	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中		国際金融論の基礎理論・分析方法について学ぶ。	01CB124, 01CD256, 01DG217, 01DZ655と同一。
01CN214	マーケティング・サイエンス		1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	8A108 近藤 文代	この授業はマーケティングに関連するデータを統計モデルを用いて分析を行うコースとして位置付ける。回帰モデルを既に知っていることを前提とし、必要に応じて統計的手法を説明する。前半の1時間は講義を行い、後半の1時間は内容に応じてRやエクセルで実際にモデルを構築する。	講義資料は全て英語。講義は英語と日本語で行う。01CB253, 01CD152と同一。

MPPS・組織・行動/資産・資源(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN221	ビジネス戦略:理論と実践		1	2.0	1・2	秋AB	水5,6	3E404 生稲 史彦, 岡田 幸彦	実践経験に基づいた経営のビジョン、戦略、組織の設計について講義する。毎回の講義内容は、招聘講師によって異なるので、開講前に別途掲示する。	01CD134と同一。
01CN222	電子商取引		1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	3E404 繆 瑩	電子商取引が既存のビジネスをどのように変えつつあり、新たな企業戦略やビジネスモデルが生まれているかを説明するとともに、電子商取引の基盤である情報システムやネットワーク技術の活用についても説明する。	01CB242, 01CF208と同一。
01CN224	ファイナンス:理論と実践(野村証券講座)		1	2.0	1・2	春C	月・木5,6	3E404 竹原 浩太, 吉瀬 章子	証券会社より講師を招き、ファイナンスの実務的な側面についての講義を行うことで、理論面の理解を深める。具体的には、M&Aや証券化といった投資銀行業務にまつわる話題を中心に扱う予定である。	01CD145と同一。

MPPS・資産・資源(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN301	金融デリバティブ		1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	3C201 岸本 一男	デリバティブとは何か、どのような数学的原理に基づいて計算されるかを説明し、Black-Scholes式を含む基本的な公式の導出と実際の価格計算とをできるようにする。	01CB236, 01CF111と同一。
01CN302	投資科学		1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	竹原 浩太, 岸本 一男	投資行動に関する基礎的な理論及び実証分析の手法等を学ぶ。カバーする予定の内容は、平均分散アプローチによるポートフォリオ最適化、Capital Asset Pricing Model (CAPM), Factor Model, Arbitrage Pricing Theory (APT), オプションの価格付け(2項モデル)などである。	確率統計・微積分のしっかりとした知識がある方が望ましい。01CB237, 01CD146, 01CF112と同一。
01CN303	離散数理		1	2.0	1・2	秋AB	月5,6	3C201 繁野 麻衣子, 八森 正泰	グラフ・ネットワークなどの離散システムの理論や、マトロイド、半順序集合、数え上げなどの組合せ論について論じる。アルゴリズム理論、計算の複雑性についても概観する。	01CB221と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN304	数理最適化理論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	3E404	吉瀬 章子, 小林 佑輔	この授業では、連続最適化問題を解くための理論とアルゴリズムの基礎を学ぶ。	01CB222と同一。 要望があれば英語で授業

MPPS・空間・環境(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN311	地域科学	1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	3C201	堤 盛人, 太田 充, 鬼頭 朋見	都市・地域に関する諸問題を分析する際に用いられる地域科学の理論と実証についての講義を行う。理論では、特に都市土地利用、都市規模に関して家計の住宅選択行動をミクロ経済学的手法を用いた分析方法について詳説する。 1. 都市の実際とモデル分析 2. 付け値関数アプローチ 3. 家計の付け値関数 4. 均衡土地利用と最適土地利用 5. 都市集計量と都市規模 6. 都市集積の理由 7. 規模の経済と都市規模 8. 空間相互作用 9. 地域科学と経済統計 10. 空間計量経済学	01CB332, 01CD248と同一。
01CN312	都市形成史	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3C201	藤川 昌樹, 松原 康介	国内および国外の都市に関する形成の歴史とその調べ方を学ぶことで、将来の都市計画・都市経営のための基本的な知見を得る。前半は事例学習、後半は学生の発表形式とする。	01AD424, 01CB311, 01CD241と同一。
01CN313	社会基盤計画学	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	3E404	岡本 直久, 石田 東生	国土計画・交通計画・地域計画・都市計画の実現手段としての社会基盤の整備と管理に関する課題について考える。 主な講義項目は以下の通り。 ・社会基盤とは(国土・地域・都市・交通計画における役割) ・我が国の社会基盤整備の歴史 ・諸関連計画の体系と今後の方向性 ・社会基盤に関わる最近の話題(維持管理、計画プロセス等)	01CB301, 01CD214と同一。
01CN314	住環境計画論	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	理科系 C502	山本 幸子, 藤井 さやか	人口減少と少子高齢化がいち早く到来している地域を主対象に、地域資源の活用や住民参加による住環境計画・コミュニティ再生手法について、実践事例を交えながら講義し、縮小社会における持続可能な住環境計画手法について考究する。	01AD425と同一。

MPPS・組織・行動(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN321	行動・実験経済学	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4		高橋 義明, 栗野 盛光	行動経済学および実験経済学の概念、方法論的基礎について事例を交えて講義を行う。	(前半)すべて英語で行う、(後半)要望があれば英語で説明(講義資料は英語) 要望があれば英語で授業
01CN322	組織行動論	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	3E404	渡邊 真一郎	本コースの目的は、組織におけるパーソナリティの問題に関する重要な知識を幅広く提供することである。そのために、組織行動論等の分野において蓄積されてきた膨大な研究をレビューする。また、年齢と職務パフォーマンスの関係、仕事生活と家庭生活の関係等、少子高齢化とデュアルアーナード化が進む現代社会にとってホットな話題も取り扱う予定である。 Research Project データの収集ならびに解析を要する研究計画を立案し実施するのも本コースの要件である。研究内容は、(a)心理学的尺度の開発、(b)個人・環境相互作用理論の検証、(c)心理学的個人差変数と組織行動変数間の関係吟味、等が望ましい。受講生は2人もしくは3人のグループ単位で研究計画を立案し、データの収集、解析および解釈を行う。ただし、調査報告書は受講生が各自で作成しなければならない。組織行動を研究する上で有用な方法論、データ解析技法および調査報告書の書き方については授業内で説明する。	前提要件: 人間行動の予測についての強い関心と統計学の基礎的知識を有すること。 01CB252, 01CD109と同一。 中間・期末試験および調査研究報告書にもとづく総合評価を行う。 英語の教材のみを使用する。講義について英語と日本語で重複した説明を行う。
01CN323	消費者行動論	1	2.0	1・2	春AB	火5,6		石井 健一	社会心理学やコミュニケーション研究の視点から消費者行動に関する研究を紹介する。 授業に関連した実習も行う。	01CB126, 01CD221, 01DR386, 01DR645と同一。
01CN324	生産・品質管理	1	2.0	1・2	春AB	木3,4		有馬 澄佳, 川村 大伸	前後半に分けて、以下2つの内容を実施する。 1) 生産・流通管理における問題解決方法を組み立てられる知識とスキルを習得させる。 2) ものづくりにおける品質管理の概観を理解させる。	01CD151, 01CJ407と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN325	意思決定理論	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2		中村 豊	不確実性下の意思決定モデルであるプロスペクト理論を基礎から学ぶ。	01CB114と同一。

MPPS・自由

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN051	国際経営	1	2.0	1・2	秋C	集中		葉 聡明	多国籍企業の経営における重要な問題について、理論と現実を理解するベースを提供する。多国籍企業の経営環境、企業統治及び会計制度に関する法律体系のインプリケーション、為替リスクのマネジメント、海外直接投資等を取り上げる。	社会学専攻、社会システム工学専攻、経営・政策科学専攻の学生のみ履修可。英語で授業。 01CB256、01CD111と同一。
01CN052	社会心理学	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	3E404	湯川 進太郎	グループを組み、社会的な問題や現象を扱ったテーマについて文献を調べ、発表する。テーマに基づいて参加者全員で討議することにより、社会心理学的な視点やアプローチの仕方を養う。	01CD261と同一。
01CN053	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。	02CN051と同一。
01CN054	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を実践を通して養う。	02CN052と同一。
01CN055	社会学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関連する機関でのインターンシップを行う。	
01CN056	社会学特別講義I	1	2.0	1-3	秋学期	集中			第一線で活躍する研究者・実務家による講義をオムニバス形式でおこなう	02CN054と同一。
01CN057	社会学特別講義II	1	2.0	1-3	秋学期	集中		モヴシユク、オレクサンダー	計量分析による国際経済比較について講義をおこなう	02CN055と同一。
01CN058	社会学特別講義III	1	2.0	1-3	通年	随時				02CN056と同一。
01CN059	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトに参加し、プロジェクトの進行に寄与できる基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN060	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて、協働のプロセスを管理する基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN061	社会学特別講義IV	1	1.0	1・2						02CN059と同一。 2015年度開講せず。
01CN062	社会学特別講義V	1	1.0	1・2						02CN060と同一。 2015年度開講せず。
01CN063	社会学特別講義VI	1	1.0	1・2	秋学期	集中				開講未定 02CN061と同一。
01CN064	社会学特別講義VII	1	1.0	1・2						02CN062と同一。 2015年度開講せず。
01CN065	社会学特別講義VIII	1	1.0	1・2						02CN063と同一。 2015年度開講せず。

MPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN001	社会学修士基礎演習I	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための基礎的な知識を習得する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN002	社会学修士基礎演習II	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための専門的な知識を習得する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN003	社会学修士特別演習I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員の指導の下、修士論文を執筆するに当たり必要となる関連する研究のレビューを行う。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN004	社会学修士特別演習II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員及びAG教員に対して、修士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN005	社会学修士特別研究I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員とAG教員に対して、修士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN006	社会学修士特別研究II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した修士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。

※社会学学位プログラム担当教員

谷口守、吉瀬章子、秋山英三、有田智一、石田東生、糸井川栄一、イリチユ美佳、大澤義明、金澤雄一郎、川島宏一、岸本一男、近藤美則、繁野麻衣子、鈴木勉、高宮進、張勇兵、堤盛人、中村豊、長谷川洋、藤川昌樹、松永恒雄、繆瑩、山本芳嗣、吉野邦彦、渡辺俊、渡邊真一郎、雨宮護、生稲史彦、石井健一、石井儀光、石川竜一郎、上市秀雄、梅本通孝、大久保正勝、太田充、岡田幸彦、岡本直久、奥島真一郎、木島陽子、倉田久、小林佑輔、高橋正文、高橋義明、谷口綾子、ターナルS.ジョン、橋本浩良、八森正泰、原田信行、藤井さやか、松橋啓介、松原康介、村上暁信、渡邊直樹、有馬澄佳、近藤文代、安東弘泰、五十嵐岳、牛島光一、甲斐田直子、川村大伸、鬼頭朋見、栗野盛光、佐野幸恵、竹原浩太、山本幸子